

▶ 第8章

進まぬ南北経済交流

——非核化めぐる政治のハードル

帝京大学准教授

李 燦雨

【ポイント】

- ▶ 韓国の文在寅大統領は2020年の「新年の辞」で北朝鮮に、南北が接する地域での協力などを提案した。文政権は朝鮮半島の鉄道連結を東アジアにつなげる「東アジア鉄道共同体」構想を提示。北朝鮮への個人旅行を認める方針も出したが、年内の実現はできなかった。
- ▶ 韓国政府の基本方針は国際社会と協力して「非核化交渉の進展」を図ることだ。南北協力の優先課題である開城工業団地再開には米国が慎重で、「独自の対北朝鮮路線」を追求する文政権の政策に揺れが生じている。
- ▶ 北朝鮮は米国との非核化交渉が停滞する中、制裁の長期化を覚悟した「自力更生」の経済路線を打ち出している。非核化の展望が開けない以上、南北の経済交流は暗礁に乗り上げ、停滞し続ける可能性が高い。



注目データ

韓国文在寅政権の「東アジア鉄道共同体構想」



資料：韓国「ハンギョレ新聞」